

前回会議での「（仮称）加須市こども・若者・子育て支援計画（素案）」への委員意見と対応（案）

No.	項目	意見（要旨）	修正後の計画案 における該当箇所	対応
1	基本目標2（内容）	基本目標2(1)エについて、「主任児童委員・児童委員」を「主任児童委員、民生委員・児童委員」にする。	56ページ(1)エ	「主任児童委員・児童委員」を「民生委員・児童委員及び主任児童委員」に修正しました。
2	基本目標3（内容）	基本目標3(2)アについて、表記以外にデジタルデバイスの多用による脳や学力への弊害について含めてほしい。	57ページ(2)ア	アの文章を「こどもとその保護者に対し、フィルタリングの促進や保護者によるこどもの携帯電話・スマートフォンの使用時間の確認、デジタルデバイスの長時間利用による健康への影響など、こどもが安心してインターネットを利用できる環境づくりについて周知します。」に修正しました。
3	基本目標3（内容）	基本目標3(5)アについて、多様化する非行の中に薬物・オーバードーズ等を含めて、注意喚起に当ててほしい。	58ページ(5)ア	アの文章を「小・中学生を対象に、万引きやいじめ、薬物乱用、SNSなどに係るインターネットの正しい使い方などを題材とした授業や非行防止教室、薬物乱用防止教室などを開催します。」に修正しました。
4	基本目標3（内容）	基本目標3(5)イで、関係機関や関係団体と連携して、犯罪防止や非行防止などの防犯活動を推進するとあるが、計画の実施に当たっては、どのように連携してその効果をあげるのか、具体策を示してほしい。	58ページ(5)イ	警察署や自主防犯組織等と連携したパトロール活動等による犯罪や非行の防止を念頭に置いています。ただし、他に連携することとなる機関や団体が生じる場合があることや計画全体における表記のバランスなどを考慮し、計画全体を通して、連携する機関や団体等の数が少なく限定（特定）できる場合等を除き、これらの名称等の固有名詞は計画に記載しないことを基本としているため、個別具体的な記載は見合わせたいと考えています。
5	基本目標4（内容）	基本目標4(1)ウについて、「自立に向けた継続的な支援プランを作成」は素晴らしい。ただし、柔軟に対応できるよう様々な「つまずき」の例を収集、蓄積してほしい。	59ページ(1)ウ	様々なケース支援を通じてノウハウを蓄積し、個々の対象者の状況に応じたきめ細やかな支援をしていきます。
6	基本目標4（内容）	基本目標4(3)エについて、「学校と教育センター」を「家庭・学校と教育センター」にする。	60ページ(3)エ	「学校と教育センター」を「家庭・学校と教育センター」に修正しました。
7	基本目標4（内容）	基本目標4(3)クにおける障がい者の運転免許について、50年前に比べ隔世の感がある。今後も確実な進展を望みたい。	60ページ(3)ク	引き続き、障がいのある人の社会参加の促進を図っていきます。

No.	項目	意見（要旨）	修正後の計画案 における該当箇所	対応
8	基本目標4（内容）	基本目標4(3)サについて、インターナショナルなサロンのような集まりがあると、日本の生活への理解や不安の軽減等に役立つと思われる。親の言語習得も進むと思われる。	60ページ(3) サ・シ・ス	外国籍のこども・若者への支援の取組として、「サ」の後に、新たに「シ 日本語指導担当教員及び日本語指導助手を配置し、外国籍の児童・生徒が日本の学校の生活リズムや学校生活に必要な最低限の日本語を習得できるよう支援します。」と「ス 外国籍の人のための日本語教室を運営する市内ボランティア団体の活動を支援します。」を加えました。
9	基本目標4（内容）	基本目標4(4)イのワーキンググループ（関係部局、公的・民間諸団体の横のつながり重視）の取組は素晴らしい。頻度を増やしてほしい。	61ページ(4)イ	ワーキンググループの開催を含めて、関係機関・団体の連携の強化に努めていきます。
10	基本目標4（指標）	基本目標4の指標に学習支援に取り組む団体は入れなくていいのか。	61ページの指標	計画全体のバランスを考慮し、指標の数は、基本目標ごとに1つ又は2つとしています。また、ご意見にある「学習支援に取り組む団体数」は、基本施策の(1)に係る指標ですが、基本施策(1)に係る指標については、「子育て応援フードドライブへの食品等の寄贈者（団体又は個人）の数」として再設定したいと考えており、学習支援についての内容は記載を見合わせたいと考えています。
11	基本目標5（内容）	基本目標5(1)について、少子化を念頭におきながらも、児童館や遊びスペースの充実が望まれる。久喜市は、東鷲宮駅前に「室内型こどもの遊び場」をオープンした。	62ページ(1)	62ページ（1）アに記載したように、こども・若者の声を運営に活かすなどして、質の面での充実を図っていきます。
12	基本目標6（内容）	基本目標6(2)アについて、工業団地内で働く人は市外の人も多く、市内に居住してもらえないかと思う。市内に勤められることは人口増の点でも有意義で、住まいの提供も一考の余地があるのではないかな。	63ページ(2)ア	市の定住人口や就業者人口の増加への効果が期待されますが、検討に時間を要するため、次期計画への記載は見合わせたいと考えています。
13	基本目標7 基本目標9	基本目標7の「ワーク・ライフ・バランス、働き方改革を推進する」及び基本目標9の「結婚・出産の希望を実現させる」については、（人口増の自治体に学びつつ、総合的なまちづくり）共生的な住宅（キャリアをもつ高齢者、学生ボランティアも入居する子育て住宅、市職員も関与）の提供とともに、育児しやすい職場モデル（1日4～5時間、週4日、給料を増援など）を商工会ほか市内企業と連携するなどして創出することが決め手と考える。 （有能な市職員を選任し、1～2年かけてコーディネーターに育成する。市長直属の円卓会議も必要。）	64ページ 66ページ	人口増加や地域共生のまちづくりの実現への効果が期待されますが、様々な検討や調整が必要になると見込まれるため、現時点では計画に記載することは困難です。市の人口増加や地域共生のまちづくりの参考にさせていただきたいと考えています。

No.	項目	意見（要旨）	修正後の計画案 における該当箇所	対応
14	基本目標8（内容）	基本目標8について、子育て支援に関わる人（ボランティア）は、5～10年以降、激減するのではないかと危惧される。民生委員・児童委員ですら担い手の確保がだんだん難しくなりつつある。今までとは異なる視点で担い手を考える必要があるかもしれない。あるいは、若い世代への問題提起か。	65ページ	担い手の確保は非常に難しい問題であるため、抜本的な対策を打ち出し、それを計画に記載することは、現時点では困難です。それぞれの分野で、従来実施している取組（情報発信、活動環境の改善、研修や交流の機会の創出など）を地道に続けていくことで担い手の確保を図っていきたいと考えています。
15	基本目標8（内容）	基本目標8で、こども・若者の育ちの支え手を増やすとあるが、保育士の確保は非常に厳しい状況にあり、民間保育所に保育士確保のための財政支援を行っている自治体もある。厳しい状況は加須市にもじわりじわりと来ている。市としてどう考えるのか。基本目標8に保育士等の担い手の処遇改善などを明記してほしい。	65ページ(1)ア	民間保育所における保育士のさらなる処遇改善のための支援を検討していることを踏まえ、基本目標8の(1)のアに「職員の処遇改善」の字句を加えました。
16	基本目標8（内容）	ボランティアの例を入れたらどうか。	65ページ(2)イ・エ	No.4のご意見に対する対応欄に記載のとおり、計画全体を通して、固有名詞は計画に記載しないことを基本としているため、記載を見合わせたいと考えています。
17	基本目標10（内容）	基本目標10に関連して、新たに位置付けられている5歳児健診の実施、対応について検討してほしい。	67ページ(1)ア	67ページ(1)アに「5歳児健診の検討など出産後から就学前までの切れ目のない健康診査の実施」に努める旨を加えました。
18	基本目標10（内容）	加須市には産婦人科がスピカレディースクリニックしかないので、新規開設費用の一部補助制度はぜひ、開業を目指す医師に周知してほしい。具体的にどのように周知させるのか知りたい。	68ページ(2)オ	現在は、市ホームページに事業を周知するページを掲載しています。既存の産婦人科医療機関にも周産期医療施策及び子育て支援施策に理解・協力いただいていることを踏まえ、今後、同様の事業を実施している近隣自治体の周知方法を参考にしながら、慎重に事業の周知をしていきたいと考えています。
19	基本目標12（内容）	基本目標12(1)エの「障がい児の保育ニーズ」について、保育において「障がいの有無で分けない」ことの大切さを基本としてほしい。	71ページ(1)エ	71ページ(1)エの表記を「障がいの有無にかかわらず、幼児教育・保育を受けられるよう、市立の幼稚園及び保育所の受入体制を確保します。また、民間の幼稚園及び保育所における受け入れを推進します。」に修正しました。

No.	項目	意見（要旨）	修正後の計画案 における該当箇所	対応
20	基本目標12（内容）	基本目標12(1)ケの「指導監査」について、むしろ、「プレーパーク」の理論と方法論を学んでほしい。	71ページ(1)ケ	教育・保育の質の確保という点で、指導監査は重要な意義を有することから、「ケ」の文章は原案のとおりとしました。なお、計画中で「プレーパーク」の用語は用いていませんが、こどもの主体的・対話的な遊びを重視した保育については83ページの1の(1)でお示ししているとおりです。今後もこの考え方を大切にして教育・保育を提供し、市内の子育て施設にも発信してまいります。
21	基本目標12（内容）	「子育て中の保護者を対象に、」の次に「埼玉県家庭教育アドバイザーを活用した」を加える。	72ページ(2)ア	No.4及びNo.16のご意見に対する対応欄に記載のとおり、計画全体を通して、固有名詞は計画に記載しないことを基本としているため、記載を見合わせたいと考えています。
22	指標（全般）	所々に指標に対する目標値が書かれるわけだが、それをどうやって見取るかという具体的な策がないと見取れないのではないかという不安を感じる。	基本目標1～12の各指標	あらかじめ、各指標について定義付けるとともに、実績値の算出方法や把握方法を明確にしておきます。
23	市立幼稚園の運営のあり方（長期のあり方）	長期的に市立幼稚園の縮小が進んでいくことが考えられるが、縮小と同時に私立幼稚園の役割及び負担が増大していくことが考えられる。今後は公立小学校と私立幼稚園のより綿密な連携の構築及び優秀な人材の確保のための加配や教職員に対する加須市独自の手当を考慮してもらい、加須市の幼児教育が後退していると思われぬような計画を推進してほしい。	80ページ	公私立幼稚園と小・中学校の教職員が、互いの教育活動を見ることを通して、こどもの学びや育ちを理解し、育てほしい姿を語り合う場を設けることなどを追記しました。なお、人材確保のための加配や市独自の手当の創設については、状況を見ながら検討したいと考えています。
24	市立幼稚園の運営のあり方（長期のあり方）	長期のあり方で、幼稚園を8→4園にする計画となっていますが、4園まで減らした場合は最寄りの園が遠くなり公立幼稚園の必要性がなくなってしまうと思います。また、園を選ぶ際、その後の小学校がどこにするかも考えて選ぶと思うので、幼稚園の前に生徒数が少なくなっている小学校の再編を計画してほしいです。	87ページ③	少子化により適切な教育環境の維持が困難となってきた中、小中学校のあり方について検討しており、現在、市が考える望ましい学校規模や適正配置の考え方などを定める「基本方針」の策定を進めています。
25	計画の進捗管理	第4編の「1 計画の進捗管理」にPDCAサイクルとOODAループを併用して進めていくという記述があるが、両者の機能、併用のメリットについて記述してほしい。	113ページ	PDCAサイクルとOODAループの違いと関係性がより具体的になるよう、記載内容の一部を修正しました。
26	計画の進捗管理	これだけのボリュームのある計画に対して、進捗状況の集約・整理、評価の部分が薄く物足りなさを感じます。より具体的な推進体制の取組をお願いしたい。	113ページ	